

# 倶知安町における地域公共交通活性化・再生総合事業(計画事業最終年度)

## 倶知安町地域公共交通総合連携計画の目標

本連携計画において策定した基本方針に基づき、**地域に適した運営・運行形態による移動手段の確保・再構築、中心部における小型乗合公共交通の運行、スクールバス混乗による移動手段の確保、乗継の向上やバス等の情報提供**を目標として掲げ、事業を遂行していくものとする。

## 23年度総合事業計画の概要(実施状況を一部含む)

### 1) まちなか循環バス「じゃがりん号」実証運行

運行期間 : 平成23年11月7日～平成24年3月31日  
運行ルート : 南北ルート: JR倶知安駅～字琴平～マックスバリュ・ホームック～JR倶知安駅(循環往復)  
東西ルート: JR倶知安駅～羊蹄団地・(新)白樺団地～JR倶知安駅(循環往復)  
運行本数 : 南北ルート: 10便(土日祝9便) 東西ルート: 11便(土日祝日10便)  
運賃 : 100円/1回(中学生以下無料)、回数券: 1000円/12枚、定期券: 2,000円/1ヶ月  
運行事業者 : (有)美空ハイヤー、倶知安ハイヤー(有)

### 2) スクールバスへの混乗実証運行

運行期間 : 平成23年11月7日～平成24年3月31日  
運行ルート : 3系統: 系統: JR倶知安駅～高見～大和～JR倶知安駅(往復) 系統: JR倶知安駅～北3西3～JR倶知安駅 系統: JR倶知安駅～南4線～JR倶知安駅  
運行本数 : 登校便1便、下校便2～4便(学校が休みの日は運休)  
運賃 : 無料  
運行事業者 : 道南バス(株)

## 倶知安町地域公共交通活性化協議会開催状況

平成23年6月23日(木) 第9回協議会を開催

- 1) 平成22年度事業報告及び収支決算について
- 2) 協議会規約改正及び役員の指名・任命について
- 3) 平成23年度事業計画案及び収支予算案

平成23年10月24日(月)第10回協議会を书面承認

- 1) 自家用有償運送の変更登録・更新登録について
- 2) 平成23年度実証運行の準備状況について

今年もお得な  
コミュニティバス  
「じゃがりん号」が  
運行します!!  
利用料はなんと!  
大人100円!  
中学生以下無料!

くっちゃんまちなか循環バス  
**じゃがりん号**

市街地で、コミュニティバスの実証運行を実施します。買い物、通院、仕事など、ちょっとした移動の際に、気軽に乗れる便利な小型バスです。  
利用料は大人100円、中学生以下は無料となっています。ぜひご利用で、お得なコミュニティバス「じゃがりん号」をご利用ください。

**\* 実証運行期間 \*** 5ヶ月前毎日運行!  
平成23年11月7日(月)～  
平成24年3月31日(土)まで

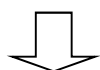
ルートマップは左面!  
時刻表は裏面です!

主催: 倶知安町地域公共交通活性化協議会事務局(倶知安町企画課所属) 66-8001

ポケットサイズ  
時刻表の表紙

### 3) バス車両(ラッピング等)

マイクロバスタイプ(11/7 ~ 12/4)



15人乗りハイエース(12/5 ~)



音響システムの設置



まちなか循環バス「じゃがりん号」

スクールバス



### 4) 停留所の整備

新設バス停と既存のバス停に共架したバス停



施設壁部・柱部を利用したバス停  
(簡易バス停・基本タイプ)



ゴミステーションを有効活用したバス停  
(簡易バス停・特殊タイプ)



## 23年度事業の実施状況

### 1) プロセス、創意工夫

過去2年の実証運行による課題や町内会との意見交換会等で出された意見を踏まえ、ルート・ダイヤを設定した。また、収入増の取り組みとして協賛広告等の取り組みも実施している。

22年度と同様の2ルートとし運行範囲もほぼ同様とするが、いずれのルートも全ての医療機関に停車するようにルートを一部変更するとともに、要望の多かった西側の旭ヶ丘公園方面を1日3便臨時運行。

ルート上で安全な場所であれば、どこでも降りることができるフリー降車を実施。

停留所の表示を外部・遠方からでもわかりやすいように変更。

回数券の発行に加え、1ヶ月定期券を発行。東西ルート・南北ルートにおいて双方の乗り継ぎができる停留所を設定し、無料乗継券を発行。

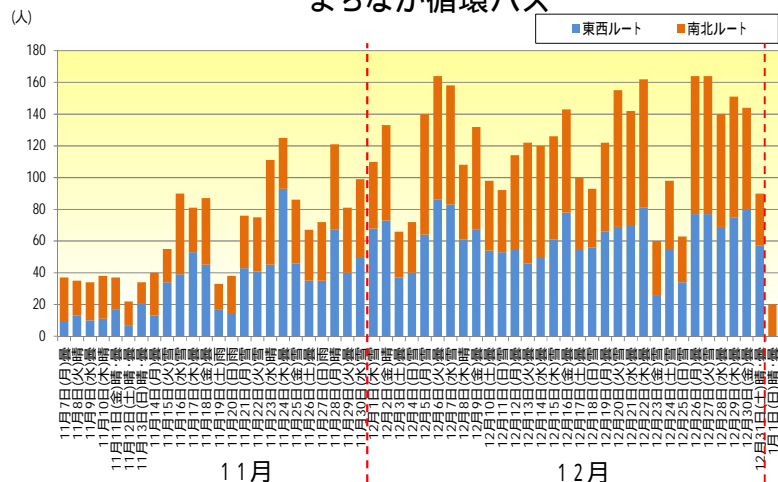
バス車両を小回りのきく15人乗りに変更し、遠くからでも目立つラッピングを施し、車外スピーカー設置して音楽を流しながら走行。

ポケットサイズの時刻表を作成し、停留所のある事業所や商店等に配置協力いただき、合わせてチラシやHPへの協賛広告を募集。

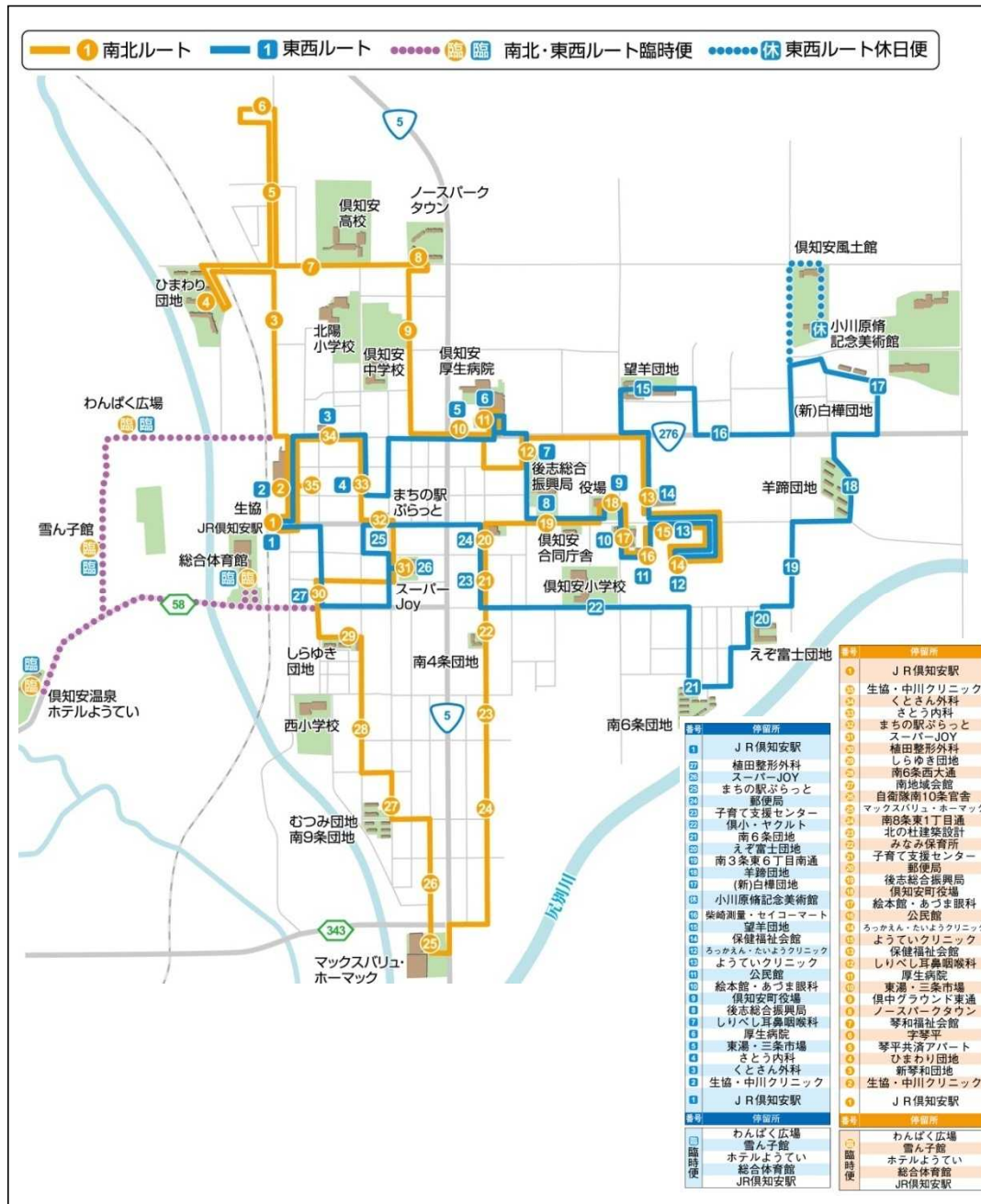
商店連合会との連携により、じゃがりん号の利用増と商店街活性化の取り組みを実施。

### 3) 利用実績

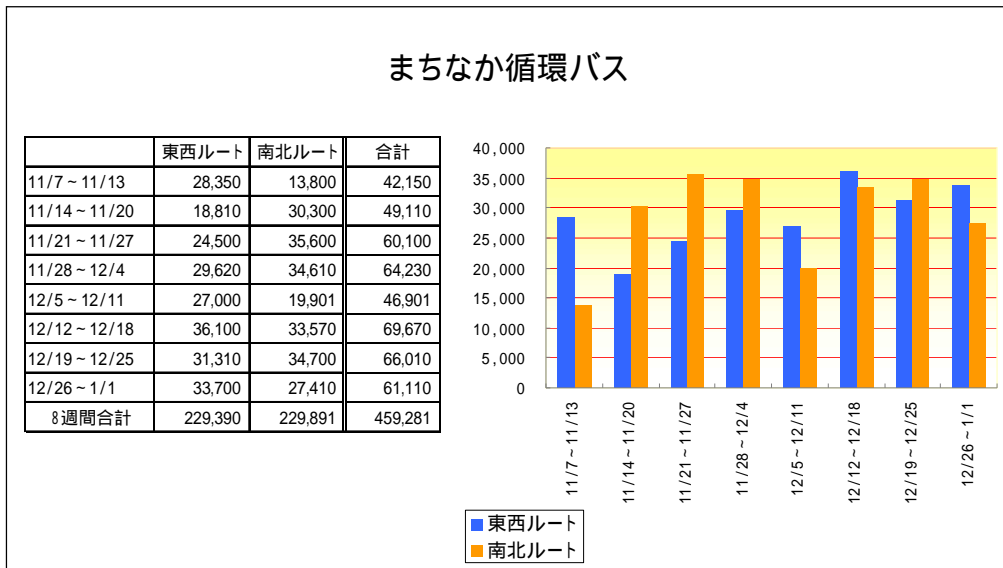
まちなか循環バス



## 2) 運行ルート



#### 4) 収入実績



#### 6) 今後の課題(約3ヶ月経過時点)

・フリー降車などの利便性向上の取り組みを行っているが、これらの制度を知らない利用者も多く見られることから、公共交通を必要とする利用者層へ向けたさらなる周知が必要と考えられる。

・高齢者等の多い地域を中心に、より一人でも多くの人に積極的な周知や広報を実施し、お年寄りでも使いやすく、利便性の高い公共交通システムであることを理解してもらうための取り組みが必要と考えられる。

・平日と土日祝の2つのダイヤを設定し、土日祝では個人病院に停車しないこととしているが、少なくとも土曜日は診療を行っていること、また個人病院周辺には住宅が多くあることから、一部の利用者から改善を求められている。

・地域で支える乗り物として、今年度から商店・事業所を中心に「じゃがりん号サポーター」として協賛広告をいただいているが、24年度から通年運行となる場合には、さらに展開させ、町全体で運行を支える仕組みを構築する必要がある。

・地域公共交通の自立的な運営へつなげるため、地域における公共交通の担い手など、維持・確保に向けた取り組み・検討が必要である。

#### 5) 事業効果(約2ヶ月経過時点)

##### 利用者数

・運行開始一週間は昨年よりも少ない利用であったが、2週目から急激に増加し、有雪期の12月に入ると、平日ではほぼ毎日100人以上の利用となっている(1便あたり平均約4.7人)。昨年の同期間と比較して延べ約2.1倍の利用者数。

##### 利用者層

・移動制約を受けるお年寄りの利用が多いが、乳幼児を連れた母親の利用も増加しており、幅広い年齢層に浸透している。  
(参考)高齢者の割合 54%(昨年は約73%)

##### 利便性等

・車両を小回りのきく車を導入することに合わせ、目立つラッピング、車外スピーカーによる音楽等により、住民から多くの好評をいただいております、認知度と親しみやすさが大幅に向上していると思われる。

##### 協賛金

・事業所、商店を中心に広告掲載による協賛として「じゃがりん号サポーター」を募り、34件231千円の申込みがあった。

#### 自己評価のポイント

・過去2年の課題や町内会との意見交換会等で出された意見を踏まえ、ルート・ダイヤを設定し実証運行を行った。東西ルート・南北ルート双方の乗り継ぎができる停留所を設定したり、フリー降車を可能とする等の取り組みを行い利用者が倍増した。  
・収入増の取り組みとして、協賛広告等の取り組みを実施した。  
・停留所の表示を外部・遠方からでもわかりやすいように表示した。  
・バス車両を小回りのきく15人乗りに変更し、遠くからでも目立つラッピング、車外スピーカーによる音楽等により、認知度と親しみやすさが大幅に向上した。

#### 二次評価のポイント

自己評価のとおり。実証運行については、地域のニーズを把握した取り組みが結果に表れている。本格実施にあたり、利用者定着を図るとともに、自立的・持続性を考慮した取り組みを期待する。